



国民春闘共闘

2024年度 第18号
2024年4月10日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

4.10 最賃ビッグアクション



神奈川

(写真上・左：神奈川労連は駅頭宣伝、デモ、労働局要請を展開)

国民春闘共闘は、最低賃金全国一律への法改正の実現、各職場での生活改善につながる大幅賃上げをあきらめない交渉の追い上げをはかる第2波の統一行動として、4月10日、最賃ビッグアクションに取り組みました。全国各地域でストライキやデモ、街頭宣伝、Twitter (X) デモなど多彩な行動が終日展開されました。

東京春闘共闘会議は、昼に厚労省前行動を行い、公務・民間の労働組合320人が結集。最低賃金全国一律1500円以上と価格転嫁できる公正取引にすぐに対策するよう声をあげました。JMITUや全印総連などの各労働組合は、大幅賃上げや企業内最賃を求めるストライキを決定し、厚労省前行動に駆け付けました。東京医労連の青山光書記長は「診療報酬で賃上げ分の財源は確保されたというのに、経営側はベア回答していない。それならと、4月18日にストライキを含む第2波の統一行動に取り組む。娘が今春、看護師として大病院で働き始めた。初任給は22万800円。夜勤をしないと食べていけないし、私たちが要求す



東京

る時間額 1500 円に届いていない。医療という社会的役割にあった賃金に引き上げるべきだし、最低賃金もいまずぐ全国一律 1500 円にしよう」と訴えました。



愛労連は、4月9日夜に名古屋駅で宣伝に27人が参加。初めて「1500円」が入った赤色Tシャツを作りみんなで着用しました。10日は各地域でも宣伝行動が行われています。

静岡県評は繁華街で宣伝とシール投票を実施。ドラゴンも登場し行動を盛り上げてくれました。

長野県労連は全県的に行動を計画。澄みわたる青空のもと「サイチン音頭」を流しながら宣伝カーが快走しました。(写真は県北部の飯山市)